

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年2月28日

事業所名 私の家veranda

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○		空間の使い方をパーティションや施設外などを利用しながら対応している	支援の形が違う児童や個別支援の形により空間の利用、場所の変更、視覚構造を検討する必要がある
	2 職員の配置数は適切である	○		職員1人で支援が行える小集団での活動を取り入れる	配置人数は足りているが、手厚い支援を要する際には配置基準数より多く配置できるのが望ましい
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		施設内の段差はない	利用児童に応じた必要な構造化・設備変更は順次行っていく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			こまめな会議を行い、意見の共有、支援の統一を行う
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		ヒヤリハットがある際には、安全管理や必要な支援の形を再研修を行う	職員会議にて定期的に行っており、外部講師からの指導は今後検討中
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成して子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	10 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			毎週話し合い、案を出し合っている
	11 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			制作系、運動系等、まだやった事のないものを取り入れるように心がけている なるべく初めてするゲームや工作などを取り入れている
	12 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		様々な体験をして頂けるように案を出し合いチャレンジできるようにしている	個別の課題の把握、必要な療育を職員間で共有できるように都度話し合いの時間を作れるようにする。
	13 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			多くて3つのグループに子供の状況に合わせて、活動を行っている 個別・集団を合わせ活動を行えるようにしている
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		一日10分でもいいので職員間で最低限の情報共有は行うようにする	記録物などの時間の取り方を検討しつつ、話し合いの時間をどのタイミングで設けられるかは日々対策中
	15 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		業務報告にて日々の業務の振り返りは共有するようにしている	当日に行えない場合は翌日には共有できるように整えるようにしてあるが、足りない部分をどのように補うか検討中
	16 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録は徹底して日々行っている	記録を取りながら当日の振り返りを行い、報告事項の漏れが無いように努めている。
	17 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		送迎時の傾聴でお困りがあるかをお尋ねする機会は設けるようにしている。	適宜モニタリングを各個別時期に行えるように検討中。
	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドラインを職員がすぐ読めるように設置している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		担任へお会いした際に話を伺う働きかけはしている。	学校HPや保護者の方と行事確認を行ったり、トラブル時の連絡も都度電話等で行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			医療ケア児がいない ケア児なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて相談員さんへ連絡を取りながら情報の共有のために対応している	就学前の利用していた場所にかぎらず他施設等の連携の対応力を上げていけるように思案中
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		卒業後就労へ行かれる児童さんの会議等に出席をしている	深く関わりのあった職員と対応責任者と共に各会議等での情報共有は行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			今後研修を入れていけるように調整する
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公共施設利用時に地域の児童さんとの触れ合いはある	障害のない児童さんと活動する場をご提供できるように努力していく
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		—	協議会の日程を確認し、動けるようにしていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時の情報共有は行っている	送迎時のみでは時間が足りていない部分を補っていけるように調整中
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			保護者の方の困りごとを拾う中でペアトレを望まれているかどうかを抽出していけるようにする
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用契約時にお伝えできるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		課題や悩み等を聴けたときは、ST・PTの先生へ相談などもしながら対応	支援職員の質の向上にむけ研修を行えるようにしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		茶話会の開催	父母の会の必要性を保護者の方へお聞きする機会を設ける
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ヒヤリハットの記録 職員間で迅速に共有 送迎時に正職からお伝えを行う	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Instagram 活動カレンダー裏面に会報発行	
	35	個人情報に十分注意している	○		媒体の使用写真の公開の方法を保護者に確認している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			今後、大きな行事ごとを開催できるように協議中

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	マニュアルを書類棚にいつでも目にするように設置	職員への周知と保護者への周知が課題。 会報をとうして周知を行う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		予測される災害に対して対策の共有	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修は細目に行っている	虐待防止委員会の設置等職員の周知を徹底していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載して	○		身体拘束についての指針はあり	周知徹底に尽力する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者の方へアセスメント、フェイスシートの作成で情報の共有を行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットは細目にあげるようにする	ヒヤリハットの重要性を会議都度職員間で共有する